

委員会の主な活動状況

[6/11~7/10]

税財政・地方分権調査特別委員会

平成23年度国の施策及び予算に関する提案(通称「白本」)について財政局から、平成23年度国家予算等に対する札幌市重点要望事項について市長政策室から説明を受け、質疑を行いました。(6/23)

議会事務局からのお知らせ

<会議を傍聴しませんか>

本会議や各委員会の審議の様子は、どなたでも傍聴することができます。本会議の傍聴席は市役所本庁舎18階に、委員会会議室は16階と18階にあります。

日程などについては、議会事務局議事課(☎211-3166)、市コールセンター(☎222-4894)へお問い合わせいただくか、市議会ホームページ(www.city.sapporo.jp/gikai)をご覧ください。

なお、本会議の傍聴の際は、受付票への記名が必要です。

<聴覚に障がいのある方には>

本会議の傍聴席には、議場での議論をイヤホンで聞くことができる席(4席)や、補聴器を使用している方が聞こえやすくなる席(フラットループシステム)を用意しています。また、手話通訳での傍聴を希望する方は、傍聴予定日の1週間前までに、手話通訳申請書を議会事務局にファクスで提出してください(FAX218-5143)。申請書は、市議会ホームページからダウンロードできます。なお、手話通訳者を配置できない場合もありますので、ご了承ください。

詳細は、議会事務局総務課(☎211-3162)へお問い合わせください。



子どもに配慮した化学物質対策

さか
坂 ひろみ

市民ネット



問宮の沢児童会館でトルエンが検出され、子どもに健康被害を与えました。

化学物質から子どもを守るための対策が必要ですが、本市の公共建築物シックハウス対策指針は子どもへの影響に配慮したものではありません。子どもが利用する施設を対象とした化学物質の子どもガイドラインを早急に策定すべきですが、いかがですか。

答成長期の子どもは化学物質の影響を受けやすく、子どもが利用する施設の対策は重要です。例えば、大人と子どもの身長差を考慮して、低い位置の室内空気についても安全対策が必要です。他都市の先進事例も参考に、ガイドライン策定に取り組んでいきたいと考えています。



普天間基地問題

むら かつみ ひとし
村上 仁

共産党



問長年にわたり、米軍基地の存在に苦しめられてきた沖縄県民の「基地を撤去してほしい」という願いをどのように受け止めているのですか。

答基地に伴うさまざまな問題を、沖縄県民が一身に引き受けてきた状況の中で、戦後60年余りが経過しており、簡単にはお答えできません。

問普天間基地のヘリコプター部隊と地上部隊の訓練について、一部を矢臼別演習場に移転する案が出ています。道都札幌の市長として、受け入れられないと表明すべきですが、いかがですか。

答沖縄の悩みをどう共有するかという、極めて困難な問題であり、まずは国レベルで議論していただきたいと考えています。

5月24日に招集された第2回定例会の中から、6月1日、2日の代表質問の主な内容についてお知らせします。

なお、代表質問については、ホームページの録画中継でもご覧になれます。

■編集 札幌市議会事務局
☎211-3164 FAX218-5143
■市議会ホームページアドレス
www.city.sapporo.jp/gikai

市議会ミニ知識

●議員提案による政策条例

地域の行政課題を解決するため、議員の提案により制定された政策的な条例のことを「政策条例」といい、本市議会では、これまでに5件の条例が制定されています。

直近では、平成21年第4回定例会において、「札幌市環境負荷の低減等のための住宅リフォームの促進に関する条例(通称:住宅エコ・リフォーム条例)」が、全議員の提案により制定され、今年7月には、本条例に基づき、省エネルギーやバリアフリー化のための住宅改修を対象とした「住宅エコリフォーム補助制度」が創設されました(補助制度については26ページのお知らせ参照)。

市議会は、市民意見を反映し、市政を監視するという機能のほかに、こうした政策立案の役割も担っています。